

第12回（平成29年度）

鶴岡市芸術祭参加公演総括表

（42公演52団体の実施報告のまとめ）

特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会

目次

1. 鶴岡市芸術祭のための会議等	1 ページ
2. 参加公演実施状況一覧	2 ～ 4 ページ
3. 鶴岡市芸術祭賞受賞団体一覧	5 ページ
4. 参加公演実施団体による反省点と来年度への抱負	6 ～ 12 ページ
5. 各地域文化祭(協賛事業)実施状況一覧	13 ページ
6. 各地域文化祭(協賛事業)の反省点と来年度への抱負	14 ～ 16 ページ
7. 鶴岡市芸術祭参加公演数等の推移	17 ページ
8. 関連事業など	18 ページ
《参考》「まちなかアート鶴岡」実施内容	19 ページ

今年で3回目の開催となる「まちなかアート」には、加盟団体はもとより、市民グループ、高校生にも参加頂き、ご覧頂いた多くの市民の皆さまから大好評を博しました。
今年は、昨年の盛り上がりを糧に、「荘銀タクト鶴岡の竣工を祝い、まちなかでの芸術祭を開催」をかね、～豊かさを創造するまちをつくる～をテーマに、芸術文化や様々な楽器を用いた音楽、芸術を身近に感じてもらうために、まちなかで幅広いジャンル枠での公演または展示を、多くの団体の皆さまよりご披露いただきました。



1. 鶴岡市芸術祭運営推進のための会議等

❖NPO芸術文化協会 芸術委員会

- ❖第1回 平成29年5月23日(火) 午前10時～(アートフォーラム) 芸術祭開催について
- ❖第2回 平成29年7月11日(火) 午前10時～(勤労者会館) 芸術祭参加団体合同会議
芸術祭協賛金・開幕式典について
- ❖第3回 平成29年12月 8日(金) 午前10時～(アートフォーラム) 芸術祭賞授賞団体の決定について
- ❖第4回 平成30年2月23日(金)午前10時～(アートフォーラム) 芸術祭の総合反省について

❖開幕式典

- ❖日 時 平成29年9月2日(土)午後1時30分～
- ❖会 場 鶴岡アートフォーラム 交流広場
- ❖参加人数 100名

❖閉幕のつどい

- ❖日 時 平成29年12月23日(土・祝)午後14時～
- ❖会 場 東京第一ホテル鶴岡 鳳凰の間
- ❖参加人数 195名
- ❖会 費 5,000円

❖参加公演

- ❖参加公演数 42公演(県参加27公演)
- ❖参加団体数 52団体(県参加35団体)
- ❖参加人数合計 3,266名
- ❖入場者数合計 22,688名

❖芸術祭賞選考委員会

- ❖委員長：佐藤 政一 副委員長：小林 達夫、佐藤 晃
委 員：中里 欣一、後藤 和夫、小林 功、久保田 豊、堀 公明
藤間 静貴久、伊達 克夫、市川 清治、五十嵐重良
佐藤 宗偉、小澤 紀美、小林 良市、三浦 恒祺
日向 常浩、佐藤よし子、梅津 芳春、小林 宗健
- ❖第1回選考委員会 平成29年7月11日(火) 午後1時30分～(アートフォーラム)
- ❖第2回選考委員会 平成29年12月5日(水) 午後2時～(アートフォーラム)
- ❖部門別小委員会 邦楽、日舞、民謡・民舞、吟詠部門：11月20日(月)
洋楽部門：12月3日(日) 洋舞・演劇部門：11月27日(月)
展示・茶道・華道部門：12月2日(土)
文芸部門：11月6日(月) 大衆芸能部門：10月17日(火)

❖関連イベント まちなかアート鶴岡 (詳細はP19)

- ❖舞台部門 平成29年9月3日(日) 参加団体数 8団体
- ❖アートワークショップ 平成29年9月3日(日) 開催団体数 1団体
- 平成29年9月9日(土) 参加団体数 4団体
- 平成29年9月10日(日) 参加団体数 9団体
- ❖展示部門 平成29年9月2日(土)～10日(日) 参加団体数 8団体

- 参加団体数 30団体 ○参加者人数 500名
- 来場者数 2,000名

❖協賛者

- ❖協賛者数 737件 (個人、企業、団体等)
- ❖協賛金合計金額 1,529,000円

❖芸術祭賞

- ❖大 賞
■第69回荘内書道展 (主催：鶴岡書道会)
- ❖準大賞
■九重流朝暘清吟会第136回吟詠大会 (主催：日本九重流朝暘清吟会)
- ❖優秀賞
■あつみ作品展 (主催：粕谷書道教室ほか)
■宝生流観世流合同謡曲大会 (主催：宝生流鶴岡五雲会 庄内謡曲愛好会)
■シンフォニック荘内流第29回公演 (主催：シンフォニック荘内流)
■庄内なつメロ会発表会 (主催：庄内なつメロ会)

2. 参加公演実施状況一覧

(公演順)

NO	公演名称	実施団体	公演日	会場	入場料	部門	所属	県参加	参加者数 (出品者数)	出品作 品数	入場者 (延)数
1	創立93周年・平成29年度白甕社美術展(公募)	白甕社	9/1(金)～9/13(水)	アートフォーラム	有料	展示	鶴岡	○	158	183	2,830
2	第48回錦心流琵琶演奏会	錦心流琵琶全国一水会 鶴岡支部	9/10(日)	中央公民館	無料	邦楽	鶴岡	○	10	-	180
3	第16回 田川民話の会 語り市 んだば、語てみっかの。三川宿	田川民話の会	9/10(日)	菜の花温泉 「田田」大広間	無料	民俗芸能	鶴岡		18	-	70
4	第31回書法研究三紫会展	書法研究 山紫会	9/15(金)～9/18(月)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	26	73	400
5	第53回「さゞ波会 民謡と舞踊のつどい」	さゞ波会	9/17(日)	中央公民館	無料	民謡・民舞	鶴岡	○	31	-	410
6	あつみ作品展	粕谷書道教室ほか	9/22(金)～9/24(日)	温海ふれあい センター	無料	展示	温海		37	100	200
7	裏千家秋の茶会	裏千家淡交会 庄内支部鶴岡地区	9/24(日)	出羽庄内国際村	有料	茶道	鶴岡		45	-	250
8	シンフォニック荘内流第29回公演	シンフォニック荘内流	9/24(日)	中央公民館	無料	邦楽	鶴岡	○	80	-	420
9	第39回佳陽会日本画展	佳陽会	9/26(火)～10/1(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	15	47	665
10	一東書道会鶴岡支部 畊雅会35周年 かな書作展	一東書道会鶴岡支部畊雅会	9/29(金)～10/1(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡		20	46	360
11	表千家流茶会	表千家同門会 山形県支部庄内地区	10/1(日)	致道館	有料	茶道	鶴岡		35	-	300
12	第28回鶴岡和紙ちぎり絵サークル展	鶴岡和紙ちぎり絵サークル	10/5(月)～10/9(月)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	27	201	800
13	第12回鶴岡市芸術祭参加 鶴岡芸術祭第55回 ViViバレエスタジオ発表会	ViViバレエスタジオ	10/8(日)	中央公民館	有料	洋舞	鶴岡		28	-	420
14	如月会水墨画展	如月会	10/14(土)～10/17(火)	中央公民館	無料	展示	鶴岡	○	13	52	245

NO	公演名称	実施団体	公演日	会場	入場料	部門	所属	県参加	参加者数 (出品者数)	出品作 品数	入場者 (延)数
15	第55回鶴岡市合同短歌会	第55回鶴岡市合同短歌会 実行委員会	10/15(日)	市立図書館	有料	文芸	鶴岡	○	60	60	64
16	第30回庄内なつメロ会発表会	庄内なつメロ会	10/15(日)	中央公民館	有料	大衆芸能	鶴岡		20	-	580
17	第54回各流派合同いけばな展	鶴岡市いけばな7流派	10/21(土)～10/22(日)	アートフォーラム	有料	展示	鶴岡	○	177	177	2,530
18	第82回つるおか小品盆栽展	鶴岡小品盆栽会	10/20(金)～10/22(日)	中央公民館	無料	展示	鶴岡	○	11	80	500
19	八沢会 唄と踊りのつどい	八沢会	10/22(日)	中央公民館	有料	民謡・民舞	鶴岡		30	-	450
20	剣聖流 鶴岡剣聖会「剣と扇の舞」	剣聖流剣詩舞鶴岡剣聖会	10/22(日)	東京第一ホテル 鶴岡	無料	吟詠	鶴岡		22	-	220
21	第24回飛雲会展	書道研究飛雲会	10/25(水)～10/29(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	36	62	450
22	秋季さつき盆栽展示会	鶴岡さつき盆栽研究会	10/27(金)～10/29(日)	中央公民館	無料	展示	鶴岡	○	18	92	275
23	朝日俳句・短歌・川柳合同展	朝日俳句の会ほか	10/28(土)～11/5(日)	朝日中央コミセン すまいる	無料	文芸	朝日		277	299	420
24	庄内金管合奏団 結成5周年秋の定期演奏会2017	庄内金管合奏団	10/28(土)	アートフォーラム	有料	洋楽	鶴岡	○	17	-	80
25	日本九重流鶴城清吟会 第41回吟詠大会	日本九重流鶴城清吟会	10/29(日)	中央公民館	無料	吟詠	鶴岡	○	200	-	400
26	第5回フォト・アイ写真展	フォト・アイ	11/1(水)～11/5(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	10	70	928
27	フォトサロン写楽写真展覧会	フォトサロン写楽	11/1(水)～11/5(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	9	90	1,052
28	表現舎刻一刻 総穂寺の仇討異聞「義・雪に散る」	表現舎刻一刻	11/2(木)・11/3(金)	中央公民館	有料	演劇	鶴岡	○	35	-	544
29	劇団麦の会 心の琴線に触れる朗読の世界	劇団麦の会	11/4(土)	中央公民館	有料	演劇	鶴岡		15	-	123

NO	公演名称	実施団体	公演日	会場	入場料	部門	所属	県参加	参加者数 (出品者数)	出品作 品数	入場者 (延)数
30	遠州流茶会	遠州流茶道山形支部	11/5(日)	アートフォーラム 致道館	有料	茶道	鶴岡		56	-	300
31	みんなの音楽会 「鶴岡放送児童合唱団定期演奏会」	鶴岡放送児童合唱団	11/5(日)	中央公民館	有料	洋楽	鶴岡	○	25	-	440
32	第24回庄内写真研究会写真展	庄内写真研究会	11/8(水)～11/12(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	7	72	600
33	第69回荘内書道展	鶴岡書道会	11/9(木)～11/12(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	1,300	1,200	2,000
34	宝生流 観世流合同謡曲大会	宝生流鶴岡五雲会 庄内謡曲愛好会	11/12(日)	第一学区コミセン	無料	吟詠	鶴岡		30	-	20
35	スイング・クレインズ・ジャズ・オーケストラ 第18回定期演奏会	スイング・クレインズ・ ジャズ・オーケストラ	11/12(日)	中央公民館	有料	洋楽	鶴岡	○	15	-	400
36	九重流朝暘清吟会 第136回吟詠大会	日本九重流朝暘清吟会	11/18(土)	東京第一ホテル 鶴岡	無料	吟詠	鶴岡		111	-	315
37	第77回 劇団だいこん座公演 「ザ・シェルター」	劇団だいこん座	11/18(土)	中央公民館	有料	演劇	鶴岡		10	-	213
38	鶴岡吹奏楽団 第33回定期演奏会	鶴岡吹奏楽団	11/19(日)	中央公民館	有料	洋楽	鶴岡	○	47	-	370
39	鶴岡土曜会混声合唱団 第66回定期演奏会	鶴岡土曜会混声合唱団	11/23(木)	中央公民館	有料	洋楽	鶴岡	○	55	-	530
40	吉統舞踊学園現代舞踊公演	吉統舞踊学園	11/26(日)	中央公民館	無料 (ご招待)	洋舞	鶴岡	○	40	-	450
41	写団はぐろ会員写真展	写団はぐろ	11/29(水)～12/3(日)	アートフォーラム	無料	展示	羽黒	○	9	77	434
42	バウムクーヘン オータムコンサート	バウムクーヘン	12/3(日)	中央公民館	無料	洋楽	鶴岡	○	81	-	450
合 計								27	3,266	2,981	22,688

3. 鶴岡市芸術祭賞受賞団体一覧

	公演名	主催	代表	部門	受賞理由
大賞	第69回荘内書道展	鶴岡書道会	佐藤 政一	展示・茶道・華道部門	鶴岡書道会主催、書道教育の普及振興を図る目的をもって開催して69回。鶴岡の書道文化の礎を築いてこられた功績は多大なものがあり、鶴岡の書道会を牽引してこられました。会場アートフォーラム2階の全壁面を使って、幼児、小・中・高生、1,100人が半切の大字部、半紙の普通部にそれぞれの課題を出品。幼児から大人まで、懸命に書いた力作が一堂に展示された会場は壮観で、圧倒される思いで鑑賞した。可動式壁面を活用しての飾りつけも見やすく、会場は親子連れで賑わい、大盛況の書道展であった。
準大賞	九重流朝暘清吟会 第136回吟詠大会	日本九重流 朝暘清吟会	百瀬 皓洲	邦楽、日舞、民謡・民舞、吟詠部門	大会は、「敬天愛人、西郷南洲を謳う」をテーマに、第1章“天意を知る”第2章“回天の胎動”第3章「維新と西南戦争」に構成され、西郷の詩を中心にその生涯を40演目で発表。改めて西郷南洲の気韻高来、徳と克己の生き方に感動。招待者も構成吟詠者となり、会員とともに吟力のすばらしさを披露された。特別出演の空手演武、保育園児の童謡、剣舞も会場を盛り上げた。来年のNHK大河ドラマ「西郷どん」に先がけた見事な演出であった。
優秀賞	あつみ作品展	粕谷書道教室ほか	粕谷 洋子	展示・茶道・華道部門	温海地区の芸術文化活動の発表の場で、写真・水墨画・陶芸・俳句・書道・生花・織物の七部門の展示であった。作品は力作で、丁寧に制作されていた。特に、関川しな織をキャンバスに描かれた作品は新鮮な感動であった。壁面と書道のコラボレーションも良く、全体的に展示方法に工夫が見られ作品を引き立たせていた。地域に根差した芸術文化活動の継承発展に寄与している。
	宝生流観世流 合同謡曲大会	宝生流鶴岡五雲会 庄内謡曲愛好会	上林 清一	邦楽、日舞、民謡・民舞、吟詠部門	謡曲は地味ながら日本古来の伝統芸能であり、伝統を長年にわたり継続し、護って来られた実績は大変すばらしい。出演者は高齢者の他、小中学生の仕舞も加わり、後継者育成の為に新しい試みとして評価できる。今年演目の内容が充実していること、年々工夫が感じられ、地道な努力に対し、優秀賞をもって応えたい。今後共この賞をきっかけとして、更に発展される事を願っている。
	シンフォニック荘内流 第29回公演	シンフォニック 荘内流	梅津 芳春	邦楽、日舞、民謡・民舞、吟詠部門	聴衆の旅情をそそる民謡演奏に始まり、感動を呼ぶ演奏が続き、特に第二景では中高生の合唱との組合せ、更に第五景では難しいモーツァルトの交響曲第四十番第一楽章の演奏を見事にこなし、聴衆からアンコールの声がかかると、朝ドラ「ひよっこ」のテーマソングで応える等、今までになかったすばらしい演奏会でした。
	庄内なつメロ会 発表会	庄内なつメロ会 発表会	加藤 隆三	大衆芸能	普段よく耳にする「なつメロ」を平均80歳の会員が、豊かな声量で、聴衆の心を和ませてくれた発表会。三部構成で、一部は会員それぞれが得意な歌を歌うという単純な構成だったが、二部は「歌で綴るあなたの人生」をテーマに「こんにちは赤ちゃん」から「還暦祝い唄」までの21曲を披露。衣装、小道具も工夫があった。三部はゲストに夢一座の踊り佐藤善人の歌で盛り上がった。

4. 参加公演実施団体による反省点と来年度への抱負

※公演内容は、芸術祭参加申込み時点での予定であり、実際の公演内容とは異なる場合があります。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
1	創立93周年 平成29年度白甕社美術展 (公募)	会員並びに一般公募 作品 種目:絵画(日 本画・油彩画・水彩 画・版画・パステル画・ アクリル画・鉛筆画・コ ラージュ)、彫刻、工芸 展示数約220点	白甕社	文化会館新設に伴う駐車場不足を懸念し 開幕を迎えましたが、幸い天候に恵れ又、 高校生の授業鑑賞が増え入館者が増加し ました。一方、一般出品者は若干減少しま したが、出品作品は会員・一般ともに個性豊 かな力作が多く、見応えのある充実した美術 展となりました。	文化会館も完成し、待望の駐車場も整 備されました。これを契機に来年度は、 出品者・入場者共に増加に転じますよう 祈っています。来年度も学生始め、若い 一般出品者が増加し、個性豊かな力作 が鑑賞者を楽しませて下さることを、切望 しております。
2	第48回 錦心流琵琶演奏会	琵琶12曲、本能寺、 最上川、敦盛、白虎 隊、海坂藩風の径、 鶴越、竜の口、鈴木 今右衛門の慈善 等	錦心流琵琶 全国一水会 鶴岡支部	会員の技能向上にあり奥伝者1名披露演 奏する。新潟、秋田、酒田支部と交流演奏 があり、互いに研鑽される。尚、新会員の増 加を図り会の発展を考えたい。	琵琶と他の楽器や音声とのコラボを、 是非、考えたい。新会員の勧誘、技能向 上をモットーに努力したい。
3	第16回 田川民話の会 語り市 んだば、語てみっがの。 三川宿	会員による地元 民話の語り他	田川民話の会	つい熱演し話が他に発展したり、終演予定 より、かなり超過し、いつもながら反省してい る。話者数を減らすことも考えているのだ が、会員の熱気過多で無理。但し、聴衆は、 途中で一人も帰らずに聞いてくれるのが嬉 しい。	総合型文化クラブ活動拡充で、地域を 知る児童が自分の住む地域を再確認す る手段に昔話の学習は大事。そのお手 伝いをする事は、当会として吝かではな い。その発表の場に、当会出演の場へ、 一緒に加わってもらえれば相身互いの では・・・。
4	第31回 書法研究山紫会展	会員27名による書 道展。書体、サイズ は各自で決め、変 化に富んだ会場に なるように心掛け た。	書法研究 山紫会	今回31回展は、大作が少なく少し寂しい 会場となったが、彩り多い雰囲気を出したと 思う。昨年の齋藤茂吉文化賞受賞(講師平 田羽山)記念の併催で会場を締めくれた。	会員の高齢化で、大作は少なくなる傾 向にあるが、個性ある作品で、楽しい会 場を造りたい。
5	第53回 「さゞ波会 民謡と舞踊のつどい」	民謡23番、踊り10 番、カラオケ歌謡3 番、花嫁行事1番、 民謡教室1番(みん なで「真室川音頭」 を唄おう)計38番	さゞ波会	前年に引き続き客席は、ほぼ満員状態に なった。入場券を発行しないので、客数の 予想がつかないし、丁度台風の予報と重な り、心配したが、客足に影響はなく、会員一 同日頃の練習の成果を出し切った。	伝承文化の伝承者として、使命感を 以って諸事に当たる。故に、花嫁行事、 民謡教室は続けて行きたいし、入場料金 の無料も続けたい故、タクトは無理。中央 公民館にお世話にならざるを得ない。会 員みんなの心意気で。
6	あつみ作品展	書、陶芸、水墨画、 砂絵、写真、俳句、 生け花等の展示	粕谷書道教室 ほか	多数の分野の方々が協力しあい開催して います。今回は、会場内にBGMを流し、ゆっ たりとしたスペースで作品の鑑賞をしてい ただこうと工夫しました。また、来場者とのコミュ ニケーションを大切に休憩コーナーを設け、 呈茶を行ったことも好評でした。傘福を展示 し、会場が賑やかになりました。	各分野が合同で開催することにより、出 展者同士の交流と研鑽を図り、より多く の方から、楽しんでいただけるよう、会場の 展示レイアウトを工夫し開催したいと思 います。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
7	裏千家秋の茶会	お茶会 2席 (濃茶席、薄茶席)	裏千家淡交会 庄内支部 鶴岡地区	裏千家淡交会庄内支部は、今年45周年を迎えました。今般の茶会は、濃茶と薄茶の二席でしたが、濃茶は日頃あまり体験することが少ないことから、参加者にはお茶とお菓子を味わっていただけたと思っております。	来年度も今年同様の茶席ができるように計画しております。
8	シンフォニック荘内流 第29回公演	テーマは「藝」演奏者とお客様が相互に作用し合い広がりを持ち、一体となった舞台を作りあげて行く。	シンフォニック 荘内流	昨年、県芸術祭奨励賞を頂戴し、今回はさらなる高みを目指してテーマを「藝」とし旅、想い、和色、春景色、シンフォニーの全五景をそれぞれの場面の出来事を思い起こしながら演奏にのぞみました。朝陽五小の文化箏クラブや市民参加型ミュージカルジュニアの歌の応援などをいただき、その想いは、きっとお客様にも届けることができたのではないかと思います。	平成30年荘内流は30周年を迎えます。テーマは、遊(ゆう)心のなぐさむことをして楽しむ。「30周年を楽しもう」として、2018全日本大正琴振興会全国大会に参加致します。演奏曲は3曲。荘内流ならではの最高の演奏をお聞き下さい。
9	第39回 佳陽会日本画展	会員15名による日本画の発表。作品数は50点前後	佳陽会	15名の会員が、一人3～4点(ふたり展は5～6点)の作品を展示した。間違えて、例年と違う会場を申し込んでしまったが、会場が変わったら全体の雰囲気も変わって良かったと好評であった。	来年は、40周年記念展を計画している。会場を広くお借りし、作品数を増やして、華々しくやりたい。会員は健康に注意し、早々に作品制作に取り組むつもりである。乞う！！ご期待。
10	一東書道会鶴岡支部 畹雅会35周年 かな書作展	1、半紙＝15枚 2、2尺×6尺＝4枚 3、半切＝11枚 4、全懐紙＝4枚 5、卷子帖＝3点 6、扇面＝1点他	一東書道会 鶴岡支部 畹雅会	会場が早目に予約出来たこと事は良かった事です。作品の種類と会員1人1人が作品を作る気持ちを早目に持てた事と、努力もする事が出来て、1年1回会員が一同に集まり、切磋琢磨する良い機会だと思っております。継続は力なり！	35周年間指導し続けてこられたという！もちろんその間、会員が途切れる事もなく！ということが嬉しい事です。会場に来た方々が変体仮名の説明プリントをほしがってたようで、益々仮名書道が浸透してほしいですね！
11	表千家流茶会	表千家流茶会 2席	表千家同門会 山形県支部 庄内地区	晴天に恵まれて、皆様の出足も良く多くの方に入席いただく事が出来ました。新文化会館との行事と重なり駐車場がなく、ご不便をおかけしたようでしたので、今後は行事等を確認して、期日を決めたいと思います。	新文化会館、アートフォーラムと発表の場所・展示の場所があります。茶会が常にできる施設があればと願っております。これからの若い人達のためにも。
12	第28回 鶴岡和紙 ちぎり絵サークル展	①会員による習作、創作。約70点の展示 ②幼児、児童の体験講座作品の展示	鶴岡 和紙ちぎり絵 サークル	28回目となった今年のサークル展は、会員の作品約60点と特別企画の懐かしい作品、子供達のクラブ活動や体験講座での個性豊かな作品も展示しました。会場も、ゆったりとしていて良い雰囲気の展示が出来たと思います。	毎月の例会で学びながら、和紙の風合いを生かした作品を作っていきたいと思っております。機会があれば、和紙ちぎり絵に興味を持ってもらい、会員数の増加にも努めたいと考えます。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
13	第12回鶴岡市芸術祭参加 鶴岡芸術祭第55回 ViViバレエスタジオ発表会	くるみ割り人形 チャイコフスキー曲	ViVi バレエスタジオ	今年の発表会は、スタジオの中心となっていた生徒が大学進学の為、上京してから初めての発表会になりました。現在、小学生の生徒が今までの先輩達のように、練習を重ねより努力し上達する事を期待しています。	2018年ViViバレエスタジオを56周年を迎えます。今回は、特別出演のプロのダンサーと共に、大人、子供の生徒も一致団結して11月の公演の向かって練習に励んでいきたいと思ひます。
14	如月会水墨画展	色紙から屏風の 水墨画 約40点の展示	如月会	出品数は53点(昨年比+4点)。10～50号(昨年比+10点)、軸～8号(昨年比-6点)で、大きい作品が増えた。全国展で上位入賞作品から、習い初めの作品まで幅広く内容も充実した展覧会となった。入場者は初～常連者と多数でした。	新たに出品する人を増やし、またさらに内容を充実していきたい。
15	第55回 鶴岡市合同短歌会	「NHK学園」短歌講師山中律雄氏を講師に、投稿全作品の批評と「ものに気づく」の講和などで学びと交流	第55回 鶴岡市合同短歌会 実行委員会	「楽しく学べた」「新しい気づきが沢山あった」と好評で、講師選による優秀作6首にも大きな拍手があった。出詠者数60。市民一般公募。高齢化による退会で実行委員団体減は課題だが、表現者の今を生きる喜びがあった。	実行団体のもち回り主管を維持しながら、若い世代や、より広い市民参加をうながせる在り方を、力のあるうちに検討しておきたい。これだけの参加者があるのは、うらやましいとした講師の言葉を確かにしてゆきたい。
16	第30回 庄内なつメロ会発表会	昭和までの曲50曲くらいを予定	庄内なつメロ会	懐メロ愛好者の高齢化が進むなか第30回の発表会が出来ました。2部の企画が人の一生に関わる曲、3部が快く賛助出演をいただいた夢一座さん、佐藤善人さんのおかげで満席のまま終演できました。	新文化会館での公演となり、それに見合った企画を準備して行きたいと思っています。今までも様々な試みをしてきました。何が出来るか全く見当もつきません。今回会員5名の入会も決まり成功させたいと思っています。
17	第54回 各流派合同いけばな展	鶴岡市華道7流派が合同でいけばなを展示する。出瓶者数約200名の予定。	鶴岡市 いけばな7流派	土曜日曜の2日間の開催で、2,530名の方々に御入場頂きました。7流派の177名が出瓶し、それぞれの流派の個性を発揮出来ました。秋の色彩豊かな風情あふれるいけばな展になったと思ひます。	来年度は55回目の合同いけばな展を迎えます。出瓶者数が減少傾向にありますが、来年もご来場の皆様に、いけばなを楽しんでいただく事ができるように、各流派とも更に研鑽を重ねて参りたいと思ひます。
18	第82回 つるおか小品盆栽展	一席4～7鉢を配した席飾り15席と一点飾り30鉢を展示し秋の風情を表現します。	鶴岡小品盆栽会	展示会を開催してから40周年を記念し、松と水石と砂や苔を駆使して「枯山水ミニ庭園」を作成して来場者に楽しんでもらいました。各自の展示も「秋の情景の演出」に創意工夫が見られ、一年間の活動の成果の発表された展示会だった。	生涯かけて楽しめる盆栽趣味の普及と会員各自の技術の向上を目指し、世界的に注目されている日本の伝統芸術である「盆栽」の一端を鶴岡の地でも支えていきたいと思ひます。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
19	八沢会 唄と踊りのつどい	民謡・民舞・新舞踊	八沢会	公演が衆院選投票日と重なったが、一部駐車場係配置前に駐車した車があり、コミセン要望に添えなかったが、その他はスムーズに終了することができた。入場も整理券を配布し混乱は無かった。	来年度は文化会館での開催になり、お客様にも出演者にも不便がかからない中で演技できることに期待感がある。大衆演芸を守るためにも、高齢化や会員の減少に敗けないで更に努力したい。
20	剣聖流鶴岡剣聖会 「剣と扇の舞」	剣聖流剣詩舞「祝舞4題」「構成舞・激動の幕末命輝かして」の3部構成。2時間20演目の演舞。	剣聖流剣詩舞 鶴岡剣聖会	剣聖流剣詩舞を通して鶴岡の文化づくりの一つにしたい。「①観客に見ていただく姿勢②お金をかけず手づくりで③2時間20演目」など基本的考えをくずさず今年も200名のご来場の市民とつくり上げることができた。	創流40周年を迎える。剣聖流剣詩舞数百名の演目の中から厳選し、市民のみなさんに喜ばれる舞台をつくっていきたい。そのためには稽古に磨きをかけ、レベルアップし剣聖流剣詩舞をより魅力あるものにしたい。
21	第24回飛雲会展	飛雲会会員による書道、篆刻作品の展示	書道研究飛雲会	会員の1年間刻苦精励した作品は、芸術の魅力を横溢した展覧会となりました。篆、隸、楷、行、草、かな、南画、篆刻会員の力量に応じ、小作から10尺物の大作まで展示でき、新たな僥倖を得られました事に感謝します。	気負わず、楽しめる書道を目指して頑張りたいと思います。
22	秋季さつき盆栽展示会	出展数約90鉢	鶴岡さつき 盆栽研究会	今年の秋季展示会は10月27日～29日の3日間 鶴岡市中央公民館大視聴覚室で開催致しました。春の花季展の様な華やかさはありませんが、樹形を見る楽しさを強調し、基本形(直幹、模様木、文人、根上がり、双幹、懸崖、石付き、株立ち、根連り、吹き流し、斜幹等)多くありますが秋のさつき盆栽は樹形を見ながら、ご観賞頂くことが一番楽しいと、おすすすめ致した結果、多くのご来場者よりご賛同戴き盛況に終える事が出来ました。	まだまだ未熟な会ではありますが、今後とも一層精進し会員それぞれ丹精込め工夫して、今後の展示会を盛り上げてゆきたいと思います。
23	朝日俳句・短歌・川柳合同展	俳句・短歌・川柳の作品展示	朝日俳句の会 ほか	今年度も俳句部門において、小中学生のほぼ全員からの出品があった。ただ、川柳や短歌の出品数が減少傾向にあるので参加者の拡大が必要である。俳句266点、短歌3点、川柳18点で、趣向を凝らした作品が多かった。	小中学生からは引き続き数多く出品してもらえよう関係機関に働きかけるとともに、俳句等により親しんでもらえよう児童生徒への指導も行っていきたい。また、会員一同より一層の研鑽に励んでいきたい。
24	荘内金管合奏団 結成5周年 秋の定期演奏会2017	金管楽器による室内楽(クラシック・ポピュラー音楽)の演奏	荘内金管合奏団	当日は会場が満席になる程のお客様からご来場いただき演奏する者として至上の喜びでした。また、山形交響楽団首席トランペット奏者の井上直樹さんをゲストにお迎えし、大変ご好評をいただきました。金管楽器の響きを多くの方々へ届けたいという我々の気持ちは届いたと思います。	演奏精度・音楽性の向上を目指し、団員一丸となって練習に励むと共に、多くの方々から聞いていただけるよう、宣伝広告に力を注ぐと共に、解りやすい企画・コンセプトにてお客様と楽しい時間を共有できるようにしたい。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
25	日本九重流鶴城清吟会 第41回吟詠大会	構成吟「庄内の漢詩を詠う」を剣舞、書道の協賛で公演、教場が得意とする20吟の発表をします。	日本九重流 鶴城清吟会	「庄内の漢詩を詠う」をテーマに10題の構成吟を公演した。構成吟「庄内の山河」を剣舞、書道を取り入れ、吟と調和のとれた舞台を演出し芸術性高い公演であった。園児の童詩、社会人の爽やかな混声も好評を得た。	多くの会員が参加できる態勢と日ごろの研鑽を充分発揮できるように演出を工夫し、総力をあげての公演にする。来場の市民に感動して頂けるような演出をしたい。
26	第5回 フォト・アイ写真展	会員10名、各人がテーマを設定し、年間を通して撮影した作品の中から5~7点を選び、展示する(計63点)	フォト・アイ	会員各人がテーマを持ち、それに添った作品を展示したので、視点がはっきりして鑑賞し易かったのではないかと。撮影技術の向上を目指して、研修方法の更なる工夫を模索していきたい。	より良い作品作りのために、研修の方法を工夫し、技術の向上を目指したい。会員の高齢化に伴い、安全上からみて、展示や撤去の作業が困難になりつつある。この点が今後の課題である。
27	フォトサロン写楽 写真展覧会	写真90点	フォトサロン写楽	今年度の写真展覧会は「それぞれの視点」をメインテーマに、会員それぞれの思いで捉えた作品です。「写真は伝えるもの」をコンセプトにした作品展を開催致しました。ご観覧の皆さまの心に伝われば幸いです。	来年度も「それぞれの視点」をテーマに被写体に迫り、心に響く作品を目指します。コンセプトは「伝える」。感動を覚えるようなシチュエーションを目指します。これからも、ご指導を賜ります様、お願い申し上げます。
28	表現舎刻一刻 総穩寺の仇討異聞 「義・雪に散る」	長谷川伸:原作、 構成・演出: 佐藤正一 表現舎版一幕、 五場。	表現舎刻一刻	今回は地元NPO法人公益のふるさと創り鶴岡との企画コラボで、支援を受ける事が出来ました。また、陽光町の総穩寺様からもご協力をいただき、地元の歴史の一ページに光を当てる事が出来たことは意義深かった。	30年度は、県民芸術祭開幕公演を作・演出を担当しますので、全精力を注ぎたいと考え、表現舎の公演はお休みにすることにしました。文化協会の皆様のご支援をよろしく申し上げます。
29	劇団麦の会 心の琴線に触れる 朗読の世界	山崎誠助作:民話劇 「メッケ犬には知らせるな」、同著「昔のやまがたうわ話」より「百間堀夜話」などの朗読劇他	劇団麦の会	ベテラン団員の高齢化と、若年層の多忙化で稽古が中々進まず、不満足な状態で終わりました。それでも、わざわざお運びいただいたお客様の「楽しかったよ」との声には、申し訳なくも感謝の気持ちでいっぱいです。	山崎作品に拘り続けてきましたが、そろそろ種切れになり朗読会も舞台公演は勿論、来年以降は不可能に近いと思われます。今後は有料でなく、どんな形で発表の場を持てるのかを団員皆で模索中です。
30	遠州流茶会	遠州流茶会2席 アートフォーラム(立流席)致道館和室(青年部の席)	遠州流茶道 山形支部	天候に恵まれ、紅葉の映える会場で茶会を開催できたことは大変良かった。また、致道館を利用することができ、歴史の重みを感じる会場にお客様に喜んでいただく事ができた。主催者側も大変勉強になった。	茶会を開催する会場を選定するのに苦労した。結局二席を別々の会場で行うことになったが、一箇所で行うことができれば、さらに来場者も増えたのではないだろうか。和室、ホール、駐車場のある便の良い場所を望む。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
31	みんなの音楽会 「鶴岡放送児童合唱団 定期演奏会」	I 歌の花かご II 外国の歌他 III ミュージカル「100 万回生きたねこ」	鶴岡放送児童 合唱団	今年もたくさんのお客様に入場いただいた。最も大切な基礎を大切に、子供たちの持っている能力が伸びやかに成長出来るよう3部構成で表現している。特にミュージカルは毎年好評で、卒団生にとっても総括的ステージとなり、感動を与えた。	今年入団した小学生7名を成長させさせながら当合唱団がまとまりある歌声になるよう、基本を大切に選曲に心掛けていく。定期演奏会以外の出演依頼に答えながら、演奏者として場を踏み成長していく事を大切にする。
32	第24回 庄内写真研究会写真展	参加会員7名で、一人5点から10点、半切から全紙までの作品発表会。	庄内写真研究会	今年24回目の発表会を迎え、会員独自のテーマを徹底追及の結果、創造力を遺憾無く発揮した作品を、今年も発表する事が出来ました。ご観覧の皆さんから、全作品から撮影者の熱意と感動が伝わったと大好評を頂きました。これもひとえに、昨年28年度写真展が県芸術文化協会より優秀賞を頂き、全会員の作品創りに大きな支えになりました。今回も全作品に込められた撮影者の、熱意が観覧者の皆さまに必ず伝わったことと思います。	来年度は、25回と節目の年に当たり全会員作品造りに力を入れ、ご観覧の皆さんに熱意と感動が伝わる作品造りに励みたいと思います。
33	第69回庄内書道展	田川地区の幼・保・小・中・高を対象とする字句の指定ありの書道展です。(高は自由)	鶴岡書道会	前年度並みの出品数であった。見やすい展示(高さ)を心掛けた。実施要項の配布が遅いとの声があった。時期的に地域の芸術祭と重なるためか。	多くの出品者、出品数を見込みたいので、実施要項の配布時期を早めたい。
34	宝生流 観世流 合同謡曲大会	素謡・連吟 仕舞・囃子	宝生流鶴岡五雲会 庄内謡曲愛好会	観世流同好会が解散し大会のまために苦心した。羽黒水曜会が不参加となり3団体30名の出演となった。仕舞で初めて小学生が2人出演し会場を沸かせた。反省点としては入場者の少なさが上げられよう。	伝統芸能の良さを皆に理解してもらうような方策をとり入場者の倍増を計りたい。又賑やかな囃子や静かな素謡、華やかな仕舞、可愛らしい子供達の仕舞をとり入れ謡曲・仕舞の良さをPRしていこうと思います。
35	スイング・クレインズ・ ジャズ・オーケストラ 第18回定期演奏会	ビッグバンド演奏、 第一部ビッグバンド、 第二部ゲストボーカルを迎えての ステージ。	スイング・クレインズ・ ジャズ・オーケストラ	森サカエさんの、年令を感じさせないパワフルな歌声に、演奏の我々も大いに乗せられ楽しい演奏会になったと思っています。今後もステキなゲストと観客の皆さんと一緒に、大いに楽しめるステージを創ってゆきます。	完成した「庄銀タクト鶴岡」で演奏ができるので、今から楽しみにしています。皆様の期待に応えられるよう早目にゲストを決定し新しいホールでの第1回目を楽しみたいと考えています。
36	九重流朝暘清吟会 第136回吟詠大会	庄内は、忠次公以来の「沈潜の風」があると言われる。維新後の両英雄の得の交わりと、墨水春秋を構成吟に。	日本九重流 朝暘清吟会	構成吟を中心に構想は3年前から準備は1年前からリハーサル6回を重ね会員全員参加を求め吟歴の浅い会員のレベルUPを図った。賛助者の熱演もあり会場を盛り上げた。過大な評価を賜り更なる芸術向上に励む。	高齢化と高齢者の入会が多く即詠を要望されるに依って行く指導者の向上と併せ、健康維持促進と云う趣味との兼ね合いを考慮こそそのバランスを重視し、特に長寿者の吟力のUPを図り全体のレベル向上と楽しい大会を目指す。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
37	第77回 劇団だいこん座公演 「ザ・シェルター」	北村 想:作 石川 富志夫:演出 「ザ・シェルター」	劇団だいこん座	朝から生憎の天候が続き、寒い中会場に足を運んでいただいた皆様に、まずは感謝致します。核シェルターを扱った今回の演目は、このところの情勢を想起された方も多かったようで、概ね好評を得ていたと思います。	劇団活動は年々厳しさを増し、先の見通しも難しい中で、今年は2名の新人が入団しました。今後も創作を重ねながら、伝統や名作といったものを掘り起こし、だいこん座らしい視点で発信し続けたいと願っています。
38	鶴岡吹奏楽団 第33回定期演奏会	鶴岡吹奏楽団による吹奏楽の名曲やポピュラー曲等で送る演奏会 指揮:小塚 類	鶴岡吹奏楽団	今回の演奏会では、クラシック音楽の中でも人気が高い、ドボルザーク作曲の交響曲「新世界より」やミュージカルをテーマに、映画「美女と野獣」からのメドレー等で、御来場されたお客様に楽しんで頂くことができました。	これからも「鶴吹」の愛称で地域に根ざす社会人吹奏楽団として、オーケストラとは違った吹奏楽の力強さや温かさ等の魅力を表現し、地域の吹奏楽の発展に貢献できますよう、より一層精進して参りたいと思います。
39	鶴岡土曜会混声合唱団 第66回定期演奏会	合唱の世界で人気作家である信長貴富氏に編曲委嘱した、ポップスなどをお聞きいただきます。	鶴岡土曜会混声合唱団	多くの市民の皆様にご来場いただき、演奏会を行うことができました。編曲委嘱した作曲家の目の前で初演をすることができ団員一同感慨深い演奏会となりました。全国大会の演奏曲も皆様に聴いていただくことができました。	市民の皆様のお陰で演奏会の三日後の全国大会では、“金賞”を受賞することができました。来年度からは、“タクト鶴岡”での演奏会を予定しています。新ホールでも皆様に楽しんでいただけるよう活動して参ります。
40	吉続舞踊学園 現代舞踊公演	現代舞踊(モダンダンス)一部、二部の構成でプログラムを作る。研究生の創作作品も加えたい。	吉続舞踊学園	雨や風の荒天にもかかわらず、満席のお客様に恵まれ、舞台には美しさや優しさが溢れて、出演者は幸せだった。一人ひとりが輝いて高い次元の舞台創りが出来てうれしい。祈りや夢が舞台に華開き感謝いっぱいです。	客席数への配慮、全席ご招待で満席は有難かった。会館の方々に快く対応していただき準備から終演後まで、全て滞りなく立派に出来た事が嬉しかった。雨風の中の駐車場の仕事も快く対応してもらい有難い事だった。
41	写団はぐる会員写真展	観覧者と会員の交流を考えた展示。庄内地域の風景・くらし・祭事の写真。	写団はぐる	各自日頃関心のあるテーマで撮りためた写真から作品の選択を会員や交流ある友人の意見をj得て検討しあった。展示して作品トリミング、並べる順番に指摘、同じようなテーマが重なったり意見をいただいた。何度も来てくれ、写真談義に熱演、肩の凝らない写真展に天候悪い中、心温まる交流の場となった。	写真表現の多様性考えながら表現の向上をめざす、変化する社会情勢の中での写真のありかた、地域を意識したテーマ、とらえ方を考える、写真展を世代交流、生涯学習の場とし写真を体験するやり方も考えたい。
42	バウムクーヘン オータムコンサート	コンクール受賞者、受験生、大学生による、ピアノ、声楽、器楽演奏。	バウムクーヘン	保育園児の可愛らしい演奏から、大学院生の迫力ある演奏まで、幅広い年齢層の方にお楽しみいただけるコンサートとなりました。地道な練習の成果である数分間の輝く時間を皆様と共有できた事を嬉しく思います。	来年度のコンサートに向けての子供達の挑戦は、もう始まっています。その姿をしっかりと見守り、励ましながら活動を続けて行きたいと思っています。大勢の皆様にご感動を与えられるコンサートをめざして。

5. 各地域文化祭(芸術祭協賛事業)実施状況一覧

地域	事業名		実施日	会場	参加者 (出品者) 数	作品数	入場者 (延)数
藤島	第46回藤島芸術文化祭	芸能発表部門	10/29(日)	藤島地区地域活動センター 大ホール	70	21	250
		展示部門	10/27(金)~10/29(日)	藤島地区地域活動センター	112	246	720
	第28回ふじしま音楽祭		11/4(土)	藤島地区地域活動センター 大ホール	335	15	1,300
羽黒	第33回はぐろ秋まつり芸術文化祭	芸能発表会	11/5(日)	羽黒コミュニティセンター	182	20	320
		作品展	11/3(金・祝)~11/5(日)	羽黒体育館アリーナ	880	1,150	420
櫛引	第49回くしびき文化祭	研修部門	10月22日(日)	上山市内各所	11	—	—
		展示部門	11月2日(木)~5日(日)	櫛引公民館	492	691	1,008
		まなびいステージ	11月19日(日)	櫛引公民館	14団体 161名	14演目	279
朝日	平成29年度あさひ産業文化まつり	芸能発表部門	10/29(日)・11/3(金・祝)	朝日中学校体育館 朝日中央コミュニティセンター 大集会室	192	23	600
		作品展示部門	10/28(土)~11/5(日)	朝日中央コミュニティセンター	1,021	1,162	1,500
温海	平成29年度(第34回)温海文化祭	ステージ部門	11/3(金・祝)	温海ふれあいセンター	184	21	900
		展示部門	10/27(金)~11/3(金・祝)	温海ふれあいセンター	460	692	1,350

6. 各地域文化祭(芸術祭協賛事業)の反省点と来年度への抱負

地域	事業名		感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
藤島	第46回藤島芸術文化祭	芸能発表部門	スタッフ(団体より1名)の協力により、運営はスムーズだった。 観客はもちろん、出演者も楽しみながら、日頃の練習の成果を発表することができた。	出演については、芸文加盟団体を優先させて、会員の発表の機会を増やしたい。 マンネリ化になっているので、集客増になるように内容を考えていきたい。
		展示部門	出展者(会員)の高齢化により、準備・後片付けについては大変だった。 会場に飾りきれないほどの出展があり、特に絵画や書の展示が多く会場が賑やかになって良かった。	一般(個人)作品の出展が減少しているので、来年はより多くの地域住民の方々より出展していただけるように声かけしていきたい。
	第28回ふじしま音楽祭		今年は藤中吹奏楽・合唱、北高の出演もあり、大変盛り上がり、観客も多かった。色々な年代の人が参加し、最後は大地讃頌・ふるさとの大合唱をし、素晴らしい音楽祭になった。 当日は、中高生のボランティアの協力もあり、運営も大変スムーズだった。	小学生の参加が減ったため、学校と行事調整等しながら、出演してもらえるよう依頼していく。 今年度の盛り上がりを継続できるよう、内容の充実を図っていきたい。
羽黒	第33回はぐろ秋祭り芸術文化祭	芸能発表会	出演団体・演目数は昨年より若干増え、幼児から高齢者まで幅広い年代の歌や踊りなど、各団体が日頃の練習の成果を十二分に発揮し、たくさんの観客に楽しんでいただくことができた。また、フィナーレでは観客も一緒に「鶴岡市民歌」を歌い、盛会に終えることができた。	より多くの観客に鑑賞していただくよう、関係機関と連携しながらPRに努め、さらに充実したステージになるよう取り組んでいきたい。
		作品展	保育園、小中学校をはじめ、羽黒高校や芸術団体、個人の作品が多数出品され、また、地域交流作品として藤島芸術文化協会に所属する小林功氏の絵画も展示することができ、見ごたえのある展示となった。創意工夫を凝らした作品が来場者の目を楽しませてくれた。	個人等一般作品の出品数が減少傾向にあるため、出品しやすい工夫やPRに努めたい。

地域	事業名		感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
櫛引	第49回くしびき文化祭	研修部門 「文化財めぐり」	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の研修先は上山市で、地元観光ガイドによる丁寧な説明が研修内容を高めてくれた ・当日は台風接近による雨天となったが、参加者からは好評であった 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財をテーマとして学習内容を企画・立案することは、同じ文化祭の芸術文化分野とのバランスや対比として、継続していきたい ・これまでは庄内地方の文化財を対象としてきたが、隣接する県外地域なども含めて研修先を検討する必要がある
		展示部門	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの地域住民から出展いただき、大変良かった ・山形県美術展入賞絵画や高校生の切り絵など多様な作品を展示することにより、地域の芸術文化意識の高揚を図ることができた ・保育園、小中学生の作品展示は毎年好評である ・生け花の展示があることで、会場が華やかで良かった 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭実行委員会の事務局が櫛引生涯学習振興会になるため、引き継ぎに遺漏のないようにしたい ・一般の出品の増加に繋がるような広報、サークルや講座に声掛けを行って、出品の増加につなげたい
		まなびいステージ	<ul style="list-style-type: none"> ・新規参加の団体もあり、日頃のサークル活動の発表の場となり大いに盛り上がった。進行もスムーズだった ・山添高から演劇や切り絵の展示で参加いただき、文化祭を盛り上げていただいた ・雪が降る天候で昨年よりも来場者は減少したが、来場者と一緒に歌おうというコンセプトの団体や、中学生と一般の団体のコラボレーション出演などもあり、大いに盛り上がった 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度同様、伝統芸能や、新規団体の参加も呼びかけながら、地域の特色ある発表になればと思う ・来年度以降事務局を担当する生涯学習振興会との連絡調整をスムーズ及び蜜に行うことが必要



地域	事業名		感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
朝日	平成29年度 あさひ産業文化まつり	芸能発表部門	<p>10月29日の朝日中学校合唱祭においては、クラスごとの発表のほか、全校生徒紅白にわかれての歌合戦や、全校合唱など迫力ある歌声、美しいコーラスが聴衆を魅了した。</p> <p>また、11月3日には朝日芸術文化協会加盟団体等による11団体14演目の芸能発表が行われ、立ち見客が出るほどの盛況のなか、和太鼓や大正琴、コーラス、民謡、舞踊、ダンス、詩吟などの発表を出演者、観客ともに楽しむことができた。</p>	<p>地域のサークルや団体が日頃の成果を発表し、地域住民が文化活動に触れる良い機会であるため、さらに充実したステージとなるよう努めていきたい。</p> <p>また、朝日中学校合唱祭は、あさひ産業文化まつりのプログラムに加わっており、中学生の学習の成果を地域住民に披露、鑑賞してもらう良い機会となっている。</p>
		作品展示部門	<p>今年度も書道・絵画・俳句部門に小中学生ほぼ全員から出品があり、児童・生徒の作品の鑑賞に家族等の来場者も多かった。また、俳句・短歌・川柳合同展や、写真、生け花、創作品等の展示など多彩な作品展示を行うことができた。</p>	<p>小中学生の人数の減少などにより出品数が減少傾向ではあるものの、小中学生が学習の成果を発表し、地域住民がその作品を鑑賞する良い機会であり、今後も各学校と連携をとりながら取り組んでいきたい。また、一般の作品についても、芸文協加盟団体等と協力しながら、広く地域の方々からの出品が得られるよう努めていきたい。</p>
温海	平成29年度(第34回) 温海文化祭	ステージ部門	<p>幼児から大人まで幅広い年代層の出演があり、17ステージが繰り広げられた。練習を重ねた発表はどれも素晴らしかったと好評をいただいている。また、今回は、演歌歌手の佐藤善人さんより特別出演をしていただき、より一層会場が盛り上がった。今年も、地域で活躍する若い方から司会をしてもらっており、若者が地域の魅力を感じる良い機会となっている。</p>	<p>日頃の活動の成果を発表する良い機会であり継続して開催していきたい。今後もより多くの出演者、来場者が得られるように各関係団体と連携しながら楽しいステージ作りに努めていきたい。</p>
		展示部門	<p>幼児から大人まで幅広い年代の絵画や書道、手工芸、生け花等、丹精こめて制作された作品の出展があり、見る人の目を楽しませていた。中学生の作品が、学校の授業の関係で全学年出品できない状態になっている。今後の課題である。</p>	<p>幼児から大人の方の作品を鑑賞できる良い機会であり、家族で鑑賞する方も多い。今後も保育園、学校、各種団体と連携し取り組んでいきたい。また、展示スペースの有効活用を考えながら、多くの方から楽しんでいただけるような空間作りを心掛けたい。</p>

7. 鶴岡市芸術祭参加公演数等の推移

参加公演

年度	鶴岡市芸術祭				県民芸術祭		参加公演数 地域別内訳						
	回数	参加公演数	参加団体数	参加者数	入場者数	参加公演数	参加団体数	鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海
平成18年度	第1回	39	54	4,224	34,689	17	23	39					
平成19年度	第2回	44	61	4,440	36,505	26	38	39	2			3	
平成20年度	第3回	49	68	4,586	41,649	26	38	42	1	1	2		3
平成21年度	第4回	46	67	4,369	36,421	32	46	39	3	1		1	2
平成22年度	第5回	47	67	4,010	35,874	31	43	41	2	1		1	2
平成23年度	第6回	44	63	3,748	31,984	26	38	38	2	1		1	2
平成24年度	第7回	46	63	3,411	31,277	33	46	40	2	1	1	1	1
平成25年度	第8回	46	66	3,569	34,556	31	43	40	2	1	1	1	1
平成26年度	第9回	39	49	3,327	24,962	27	36	34	1	1	1	1	1
平成27年度	第10回	42	51	3,316	25,050	26	32	37	1	1	1	1	1
平成28年度	第11回	45	55	3,351	23,129	29	38	41	1	1		1	1
平成29年度	第12回	42	52	3,266	22,688	27	35	39		1		1	1

協賛事業(地域文化祭)

	鶴岡市 芸術祭	藤島		羽黒		櫛引		朝日		温海	
		参加者数	入場者数	参加者数	入場者数	参加者数	入場者数	参加者数	入場者数	参加者数	入場者数
平成18年度	第1回	211	1,200	1,287	2,200	1,317	1,774	1,247	1,700	1,003	1,990
平成19年度	第2回	172	1,200	1,000	1,390	866	2,022	1,254	1,900	1,164	2,200
平成20年度	第3回	636	1,360	915	1,200	809	1,755	1,135	1,900	1,032	2,350
平成21年度	第4回	678	1,451	965	727	708	1,692	1,034	2,000	1,138	2,200
平成22年度	第5回	705	1,545	1,038	1,146	794	1,665	766	1,950	1,063	2,300
平成23年度	第6回	674	1,820	1,224	941	672	1,482	639	1,850	965	2,500
平成24年度	第7回	639	1,930	1,022	893	702	1,229	701	1,850	993	2,500
平成25年度	第8回	639	1,780	1,022	995	721	1,110	701	1,850	979	2,200
平成26年度	第9回	529	1,700	1,024	842	671	1,289	872	1,705	905	2,200
平成27年度	第10回	516	1,780	957	728	638	1,340	1,205	1,800	779	1,800
平成28年度	第11回	489	2,470	949	800	698	1,111	1,193	2,250	891	2,250
平成29年度	第12回	517	2,270	1,062	740	664	1,287	1,213	2,100	644	2,250

8. 記念事業など

年度	芸術祭回数	分類	公演名等
平成24年度	第7回	賛助公演	第49回現代舞踊合同公演(主催:社団法人 現代舞踊協会東北支部)
平成25年度	第8回	特別参加事業	鶴岡市芸術文化協会創立50周年記念事業 ～ありがとう!明日にむかって～ (主催:鶴岡市芸術文化協会) ◎総合舞台『美しい山河 ここに生命輝く』 ◎総合芸術展『文化と伝統・自然の香り豊かに』
平成27年度	第10回	プレイベント	第10回鶴岡市芸術祭記念プレイベント「まちなかアート鶴岡」
		協賛事業	鶴岡市合併・市制施行10周年記念事業 鶴岡市芸術祭協賛事業 地域文化祭交流ステージ(展示) 藤島:錦心流琵琶全国一水会鶴岡支部、羽黒:黄雞鶴岡歌会、櫛引:鶴岡吹奏楽団、朝日:白甕社、温海:鶴岡竹友会
平成28年度	第11回	関連イベント	第36回全国豊かな海づくり大会協賛イベント 「海づくりアート鶴岡」～海・山・川～今年も響くアートの風! (主催:全国豊かな海づくりアート実行委員会)
平成29年度	第12回	関連イベント	第3回まちなかアート鶴岡 (主催:市民アート実行委員会)



《参考》

『第3回まちなかアート鶴岡』実施内容

部 門	日 程	会 場	参 加 団 体 名	参加団体数
舞台部門	9月3日(日)13:00～	マリカ広場	チアダンスクラブShooteing★stars、CHANNEL-i DANCE PROJECT 鶴岡東高等学校吹奏学部、なんちゃって山崎まさよしトリオ	4
	9月3日(日)13:00～	丙申堂	錦心流琵琶全国一水会鶴岡支部、田川民話の会、八沢会、さゞ波会	4
	9月9日(土)12:20～	エスモール 1F 光の広場	庄内農業高等学校文化部、鶴岡ハーモニカソサエティ 羽黒高等学校吹奏楽部、鶴岡南高等学校吹奏学部	4
	9月10日(日)13:30～	エスモール 1F 光の広場	荘内金管合奏団、鶴岡工業高等学校吹奏学部	2
	9月10日(日)13:00～	丙申堂	淡井会、鶴岡竹友会、鶴城清吟会、藤静会	4
	9月10日(日)14:00～	鶴岡タウンキャンパス ピロティ	市民参加型ミュージカル、松柏吟友会、山形庄内よさこい連盟	3
展示部門	9月2日(土)～9月10日(日)	エスモール 2F イベントスペース	鶴岡書道会、書法研究 山紫会、書道研究 飛雲会、稲京短歌会	4
	9月2日(土)～9月10日(日)	エスモール 1F・2Fイベントスペース	古流松應会、小原流、草月流	3
	9月2日(土)～9月10日(日)	FOODEVER	松涛短歌会	1
※アート ワーク ショップ	9月3日(日)10:00～	鶴岡アートフォーラム アトリエ	こどもアトリエ 『魔法の絵画を創ろう!!』 参加費500円(対象:小学生)	1
※アートワークショップのみ有料、その他については無料				
計				30

《主催》

特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会
鶴岡市教育委員会

《後援》

致道博物館
鶴岡商工会議所
荘内日報社
山形新聞・山形放送
朝日新聞山形総局
毎日新聞山形支局
読売新聞山形支局
河北新報社
NHK山形放送局
山形テレビ
テレビユー山形
さくらんぼテレビ



ポスター：三浦 史雄 氏

第12回(平成29年度)鶴岡市芸術祭参加公演総括表

平成30年2月作成

特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会 事務局
〒997-0346 鶴岡市上山添字文学100 鶴岡市櫛引庁舎内
TEL.0235-57-2008 FAX.0235-57-2117